

## 基幹統計調査の承認の状況

(平成 23 年 12 月 14 日 ~ 平成 24 年 1 月 13 日分)

平成 24 年 1 月 16 日  
政策統括官(統計基準担当)

統計調査の名称	実施者	主な承認事項	承認年月日
海面漁業生産統計調査	農林水産大臣	承認事項の変更 平成 24 年度調査の実施に当たり、国が策定していた「資源回復計画」が平成 23 年度に終了することに伴い、資源回復計画対象魚種別漁獲量の統計表の作成を中止	H23.12.20
学校保健統計調査	文部科学大臣	承認事項の変更 平成 23 年調査について、東日本大震災への対応として、調査対象の地域的範囲から岩手県、宮城県及び福島県を除外。また、これに伴い報告者数を変更	H23.12.26

(注) 本表は、基幹統計調査に係る申請のうち、「軽微な変更」として統計委員会への諮問にかからなかったものを整理している。

【調査名】 学校保健統計調査（平成23年承認）

【承認年月日】 平成23年3月16日

【実施機関】 文部科学省生涯学習政策局調査企画課

【目的】 本調査は、学校保健統計（学校における幼児、児童及び生徒の発育、健康等の状態を明らかにすることを目的とする基幹統計）を作成することを目的とする。

【沿革】 この統計は、学校における健康診断の結果の記録に基づいて作成される統計であり、始まりは、明治33年の「生徒児童身体検査統計」である。このとき作成の基となったのは、「学生生徒身体検査規程（明治33年3月26日文部省令第4号）に基づいて行われた身体検査の結果の記録であった。

以降、統計の作成は継続して行われたが、戦時中は身体検査が徹底して行われなかったため、統計の作成は昭和14年を最後に中断し、戦後の昭和22年まで作成されなかった。

昭和23年に、旧統計法（昭和22年法律第18号）に基づく指定統計となり、名称を「学校衛生統計」とし、「学校身体検査規程」（昭和19年5月17日文部省令第33号）に基づいて行われた身体検査の結果の記録を基に作成する統計として再出発した。

昭和33年に、学校保健法（昭和33年法律第56号）が制定され、学校における身体検査は、以後はこの法律に基づく健康診断として行われることになった。これに対応して、昭和35年に名称が「学校保健統計」に、また、これを作成するための指定統計調査名が「学校保健統計調査」に改められた。

昭和52年に、「学校保健統計調査」の調査対象の選定方法が、都道府県の負担軽減のため、従来の単純比例抽出から各都道府県ごとに同数を抽出する確率比例抽出となった。

平成18年に、調査対象の選定方法が、確率比例抽出から層化抽出となった。

【調査の構成】 1 - 発育状態調査票（幼稚園） 2 - 発育状態調査票（小学校） 3 - 発育状態調査票（中学校及び中等教育学校の前期課程） 4 - 発育状態調査票（高等学校及び中等教育学校の後期課程） 5 - 健康状態調査票（幼稚園） 6 - 健康状態調査票（小学校） 7 - 健康状態調査票（中学校及び中等教育学校の前期課程） 8 - 健康状態調査票（高等学校及び中等教育学校の後期課程）

【公表】 インターネット及び印刷物（速報：調査実施年の12月、報告書：調査実施年の翌年3月）

【調査票名】 1 - 発育状態調査票（幼稚園）

【調査対象】 （地域）全国 （単位）学校 （属性）国、公、私立の幼稚園 （抽出枠）学校基本調査結果

【調査方法】 （選定）無作為抽出 （客体数）1,645 / 13,392 （配布）郵送・オンライン （収集）郵送・オンライン （記入）自計 （把握時）毎年4月1日～6月30日 （系統）文部科学省 - 都道府県 - 報告者

【周期・期日】 （周期）年 （実施期日）毎年4月1日～6月30日

【調査事項】 1. 身長、2. 体重、3. 座高

【調査票名】 2 - 発育状態調査票（小学校）

【調査対象】 （地域）全国 （単位）学校 （属性）国、公、私立の小学校 （抽出枠）学校基本

## 調査結果

【調査方法】 (選定)無作為抽出 (客体数)2,820/22,000 (配布)郵送・オンライン (収集)郵送・オンライン (記入)自計 (把握時)毎年4月1日~6月30日 (系統)文部科学省-都道府県-報告者

【周期・期日】 (周期)年 (実施期日)毎年4月1日~6月30日

【調査事項】 1.身長、2.体重、3.座高

【調査票名】 3 - 発育状態調査票(中学校及び中等教育学校の前期課程)

【調査対象】 (地域)全国 (単位)学校 (属性)国、公、私立の中学校、中等教育学校の前期課程 (抽出枠)学校基本調査結果

【調査方法】 (選定)無作為抽出 (客体数)1,880/10,863 (配布)郵送・オンライン (収集)郵送・オンライン (記入)自計 (把握時)毎年4月1日~6月30日 (系統)文部科学省-都道府県-報告者

【周期・期日】 (周期)年 (実施期日)毎年4月1日~6月30日

【調査事項】 1.身長、2.体重、3.座高

【調査票名】 4 - 発育状態調査票(高等学校及び中等教育学校の後期課程)

【調査対象】 (地域)全国 (単位)学校 (属性)国、公、私立の高等学校、中等教育学校の後期課程 (抽出枠)学校基本調査結果

【調査方法】 (選定)無作為抽出 (客体数)1,410/5,164 (配布)郵送・オンライン (収集)郵送・オンライン (記入)自計 (把握時)毎年4月1日~6月30日 (系統)文部科学省-都道府県-報告者

【周期・期日】 (周期)年 (実施期日)毎年4月1日~6月30日

【調査事項】 1.身長、2.体重、3.座高

【調査票名】 5 - 健康状態調査票(幼稚園)

【調査対象】 (地域)全国 (単位)学校 (属性)国、公、私立の幼稚園 (抽出枠)学校基本調査結果

【調査方法】 (選定)無作為抽出 (客体数)1,645/13,392 (配布)郵送・オンライン (収集)郵送・オンライン (記入)自計 (把握時)毎年4月1日~6月30日 (系統)文部科学省-都道府県-報告者

【周期・期日】 (周期)年 (実施期日)毎年4月1日~6月30日

【調査事項】 1.栄養状態、2.脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、3.視力、4.眼の疾病・異常の有無、5.耳鼻咽喉頭疾患の有無、6.皮膚疾患の有無、7.歯・口腔の疾病・異常の有無、8.心臓の疾病・異常の有無、9.尿、10.寄生虫卵の有無、11.その他の疾病・異常の有無

【調査票名】 6 - 健康状態調査票(小学校)

【調査対象】 (地域)全国 (単位)学校 (属性)国、公、私立の小学校 (抽出枠)学校基本

## 調査結果

【調査方法】 (選定)無作為抽出 (客体数)2,820/22,000 (配布)郵送・オンライン (収集)郵送・オンライン (記入)自計 (把握時)毎年4月1日~6月30日 (系統)文部科学省-都道府県-報告者

【周期・期日】 (周期)年 (実施期日)毎年4月1日~6月30日

【調査事項】 1.栄養状態、2.脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、3.視力、4.聴力、5.眼の疾病・異常の有無、6.耳鼻咽喉頭疾患の有無、7.皮膚疾患の有無、8.歯・口腔の疾病・異常の有無、9.結核の有無、10.心臓の疾病・異常の有無、11.尿、12.寄生虫卵の有無、13.その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果、14.相談員・スクールカウンセラーの配置状況

【調査票名】 7-健康状態調査票(中学校及び中等教育学校の前期課程)

【調査対象】 (地域)全国 (単位)学校 (属性)国、公、私立の中学校、中等教育学校の前期課程 (抽出枠)学校基本調査結果

【調査方法】 (選定)無作為抽出 (客体数)1,880/10,863 (配布)郵送・オンライン (収集)郵送・オンライン (記入)自計 (把握時)毎年4月1日~6月30日 (系統)文部科学省-都道府県-報告者

【周期・期日】 (周期)年 (実施期日)毎年4月1日~6月30日

【調査事項】 1.栄養状態、2.脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、3.視力、4.聴力、5.眼の疾病・異常の有無、6.耳鼻咽喉頭疾患の有無、7.皮膚疾患の有無、8.歯・口腔の疾病・異常の有無、9.結核の有無、10.心臓の疾病・異常の有無、11.尿、12.その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果、13.相談員・スクールカウンセラーの配置状況

【調査票名】 8-健康状態調査票(高等学校及び中等教育学校の後期課程)

【調査対象】 (地域)全国 (単位)学校 (属性)国、公、私立の高等学校、中等教育学校の後期課程 (抽出枠)学校基本調査結果

【調査方法】 (選定)無作為抽出 (客体数)1,410/5,164 (配布)郵送・オンライン (収集)郵送・オンライン (記入)自計 (把握時)毎年4月1日~6月30日 (系統)文部科学省-都道府県-報告者

【周期・期日】 (周期)年 (実施期日)毎年4月1日~6月30日

【調査事項】 1.栄養状態、2.脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、3.視力、4.聴力、5.眼の疾病・異常の有無、6.耳鼻咽喉頭疾患の有無、7.皮膚疾患の有無、8.歯・口腔の疾病・異常の有無、9.結核の有無、10.心臓の疾病・異常の有無、11.尿、12.その他の疾病・異常の有無、13.相談員・スクールカウンセラーの配置状況